

山形県ICT活用プロジェクト 事例紹介

ICT活用による業務の効率化

(株)アイエス 介護付有料老人ホーム ベル宮町
施設長 志田 亮

令和元年11月26日

目次

- ・ 法人及び事業所概要
- ・ 導入理由/現場の課題やニーズ
- ・ 導入機器/システム概要
- ・ 導入効果と今後の課題

法人および施設概要

■ 経営主体

株式会社アイエス

■ 施設名

介護付有料老人ホーム ベル宮町

介護付有料老人ホーム ベル北町

小規模多機能型居宅介護事業所

ベルライフ宮町

住宅型有料老人ホーム ベルライフ宮町

■ 定員

60名

50名

29名

15名

■ 設立日

平成18年10月21日

平成22年11月15日

平成31年3月22日

平成31年3月22日

東海林大君 TOKYO2020
東京パラリンピック日本代表決定!!



現場の課題やニーズ（介護）

・ケア記録を充実させたいけど、パソコンが苦手で文字を打つのが大変…
入力も時間がかかってしまう…

・現場で測定したバイタルをシステムに入力する二度手間を減らしたい…

・作らなきゃいけない資料や入力しなきゃいけないデータが多くて、
このままでは現場の作業がおざなりになりかねない…



現場の課題やニーズ（事務）

・各施設で統一した書類を使っていきたいが、そのつどメールやUSBで書類を送らなければならない面倒…

・同じ介護ソフトを使用しているのに請求は各施設で。請求管理を一本化し事務の請求業務の効率化を図れないか…

・法人全体としての業務の効率化を行い、経費削減へもつなげていけないか…



導入機器/システム概要

■ タブレット端末 + ケア記録入力システム

⇒ **現場で作業をしながら、ケア記録の入力が可能に。**

■ 通信機能付きバイタルサイン測定器(体温計/血圧計/パルスオキシメーター)

⇒ **バイタル記録の二度手間なし。測定の効率化。**

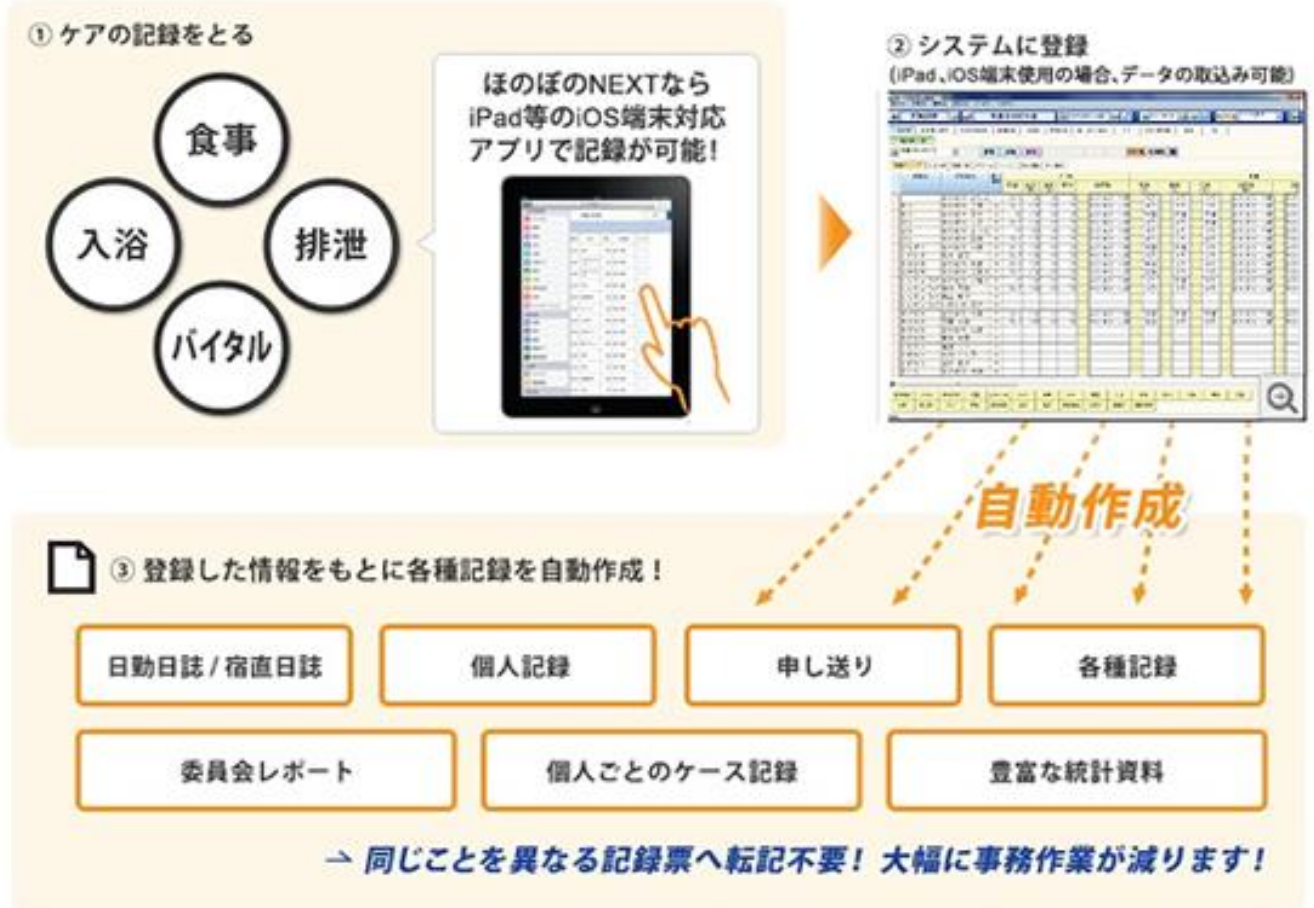
■ 音声入力システム

⇒ **文字入力な苦手な介護員を補助。記録内容の充実化。**

導入機器/システム概要

■ タブレット端末 + ケア記録入力システム

2	17	名前	申し送り	バイタル	入浴	知覚	食事	服薬	間食	排泄	リハビリ	リハビリ
大保子	10:20	09:00	09:45	10:20	12:30	昼	1	1	2	5	15:20	
小ひ子		09:00			12:30	昼	1	1	1	4	15:20	
小真	11:30	09:00	09:45	10:15	12:30	昼	1	1	1	4	15:20	
櫻井		09:15	09:45		12:30	昼	1	1	2	5	15:20	
森之宮		09:15			12:30	昼	1	1	3	5	15:20	
白竹 那	10:00	09:15	09:45	12:13	12:30	昼	1	1	1	1	5	15:20
計 録		09:00	09:45		12:30	昼	1	1	2	4	15:20	
岡 田 枝	11:24	09:00			12:30	昼	1	1	4	4	15:20	
岡 田 隆		09:00	09:45	10:30	12:30	昼	1	1	2	4	15:20	
高 政	11:40	09:00			12:30	昼	1	1	1	4	15:20	



導入機器/システム概要

■ 音声入力システム

音声入力支援システム

Voice funとは

声で
書こう!

「話した言葉をそのまま
システムに入力できれば・・・」

そんな多くの介護現場の声に、介護分野に特化した音声入力システム「Voice fun」がお応えします。従来の音声入力ソフトで必要であった事前の声の登録などは一切無く、誰でもすぐに使用出来ます。



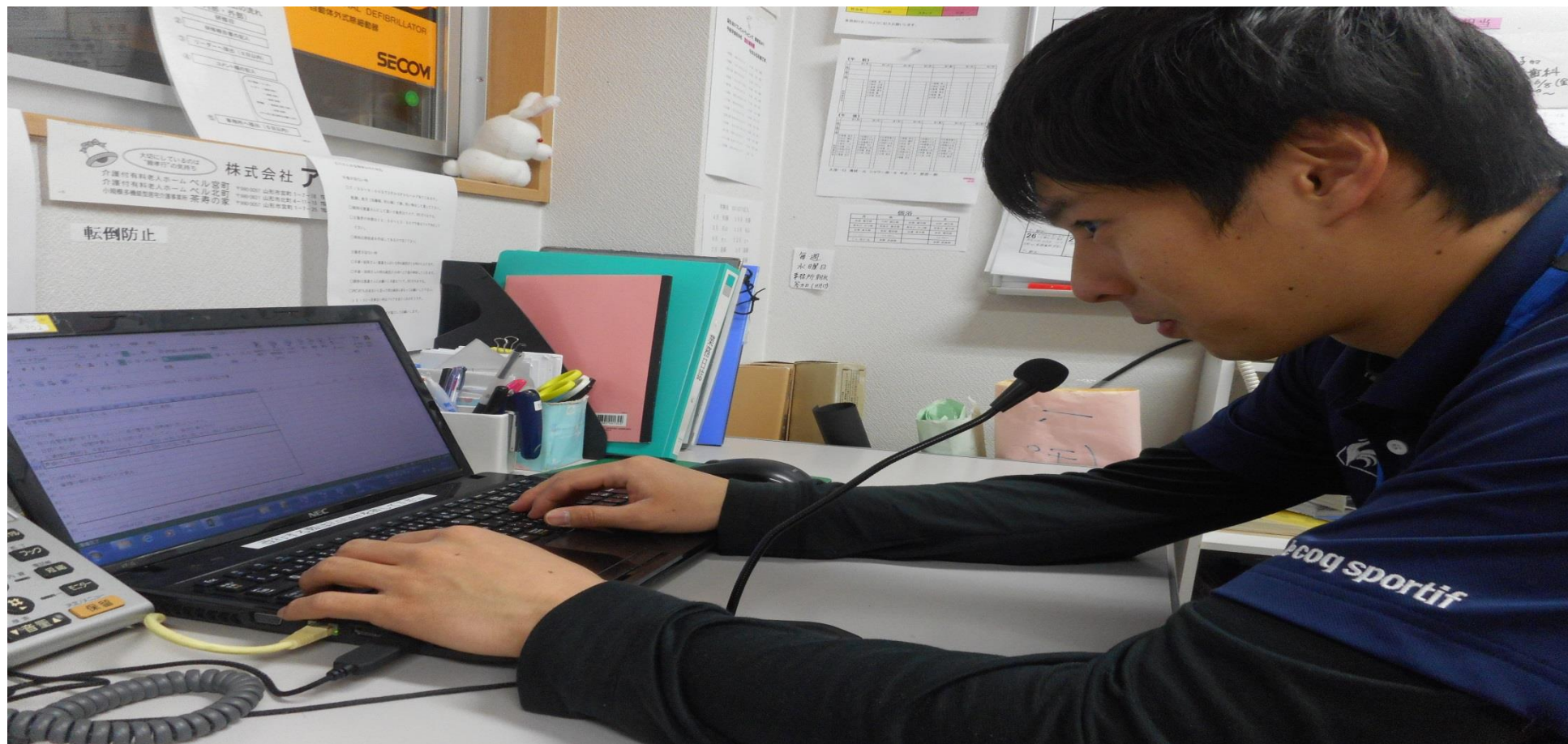
● Voice funの特徴

- ・ 介護の専門用語を優先して変換
- ・ スマホやボイスレコーダーで録音した音声を読み取り、テキスト化が可能
- ・ 学習機能を搭載

実際の導入機器①



実際の導入機器②



導入の取り組み（介護）

■ 導入実施体制

● 施設内の取り組み

- ・ ICT活用責任者の選出
- ・ 業者と連携し、
複数回のデモ／操作指導開催
- ・ 定期的な活用状況確認

導入効果と今後の課題（介護）

■ 導入効果

介護員による記録業務の負担軽減・・・バイタル記録の2度手間省略

⇒現場での作業の割合を増やし、より充実した介護サービスの提供

⇒タブレットの有効活用

■ 今後の課題

各システムの有効活用のため、導入後のフォロー

および業務フローの見直し

導入機器／システム概要

■VPNネットワーク(各施設をプライベートネットワーク内で通信可能にする技術)を構築、ファイル共有サーバーを導入
⇒**回覧の手間の軽減や、より効率的な情報共有を図ることが可能**

■介護システムを一拠点へ集約、サーバーの一元化
⇒**各施設毎の更新ライセンスの経費削減、確認の手間が軽減**

導入の取り組み（事務）

■ 導入実施体制

● 法人としての取り組み

- ・ 業者と複数回に渡るシステム集約の検討
- ・ システム集約による
影響を受ける施設の対応の検討と職員への説明
- ・ システム集約後の状況確認

導入効果と今後の課題（事務）

■ 導入効果

各施設間の情報共有の簡素化

⇒メールやUSBではなく共有ファイルにて共有が可能

経費の削減

⇒各施設毎のライセンス更新が不要に

■ 今後の課題

中心になる施設以外の介護記録やケアマネ記録の移行

特定の職員への業務負担増